

石巻災害ボランティア

大阪御堂筋RAC3名・大阪中央RAC1名・吹田RAC1名・関大RAC4名・大阪御堂筋、吹田OG2名・チームライラ1名・RACメンバーの知人4名の合計16名で4月30日夜より石巻市に災害ボランティアに行きました。

5月1日昼、現地石巻入りし、ボランティアセンターが設置されている石巻専修大学のキャンパスへ向かうまでの道中、道路から見える景色の恐ろしい事と言ったら言葉では言い表せない感じです。そこら中に上下逆さまになった車が折り重なるように積み上がっていたり、津波ですべてが流され何も無い街並み。3月に茨城に行きましたがその状況を遙かに超えた惨事に目を背けたくなる思いでした。

ボランティアセンターの方の指示に従い集合場所に行き我々の作業内容が告げられました。その内容はドブ掃除です。

津波で流されたヘドロや瓦礫がドブに詰まって流れないので雨が降ると大変な事になるそうです。それを掃除し、少しでも流れやすくするのが我々に与えられた任務でした。

ドブの上の蓋を開けるとそれはもう耐えきれないぐらいの悪臭がします。ヘドロに下水が混じり真っ黒でドロドロした物が一面を覆っているのです。それをスコップですくって土嚢袋に詰めていくのです。このヘドロは水分も含んでいるのでかなりの重量があります。それを一輪車に乗せ1カ所に集めておくのです。そうすると夕方トラックが回収に来ます。

このような作業を3日間させて頂きました。

街の人達からは「ありがとう」「ご苦労様」と声を掛けて頂き、子供達は全員が「こんにちは」と挨拶をしてくるのです。ボランティアに行っているのになんかこっちが元気付けられているような感覚にもなります。

ボランティアセンターの方と非常に仲良くなり色々な話を聞いてきました。まず印象的だったのはマスコミの事でした。ゴールデンウィーク中はボランティアが殺到して断っている状態ですという報道があったと思います。他の所は知りませんが石巻で言うとゴールデンウィーク中のボランティアの人数はボランティアセンターが立ち上がって以来最少人数だそうです。予定人数の半分も来なかったのです。これに報道機関は責任が取れるのかと激怒しておりました。確かに断っていたボランティアセンターもあったでしょう。予想以上に人が来てしまった所もあったでしょう。ただ、そうでない所もあるのです。報道機関はもっと正確な情報を流して欲しいと思います。

現地に行ってみてまだまだ人手が足りないし、まだまだ時間がかかる事ははっきりとわかりました。本当に先の長いボランティアと支援が必要だと感じます。

最後になってしまいましたが、今回一緒に行った仲間は最高のチームでした。弱音を吐かず与えられた仕事をこなし、また、もっと効率のいいアイデアを出し非常に優れたチームだと思います。このメンバーでボランティアに行けた事を誇りに思います。

